

## ごあいさつ

まず初めに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々、および、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う自粛等により影響を受けられたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

当会(神奈川県信用農業協同組合連合会(略称「JA神奈川県信連」))は、昭和23年の設立以来、県内JAとともに「農業の専門金融機関」として農家経営の向上に資するとともに、「地域金融機関」として組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指した業務展開に努めております。

この度、当会の事業・経営に対する一層のご理解をいただくため、最近の業績や業務内容をとりまとめた「DISCLOSE 2020」(ディスクロージャー誌)を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、平成31年度の事業環境(国内景気)を振り返ってみますと、上期は雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調を維持しておりましたが、下期に入ると消費増税や大型台風被害の影響を受けるとともに、さらに年明け以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大により急速に悪化いたしました。

また、JAバンクを取り巻く環境は、少子高齢化の進行、利用者による金融機関の選別志向の高まり等を背景に、他金融機関との競争が厳しさを増しています。

このような大変厳しい経営環境でありましたが、当会は中期経営計画(平成31～令和3年度)の初年度として、3つの基本戦略と9つの重点実施事項のもと、県内JAとの一体的事業運営態勢を拡充し、有価証券等の効率的な運用やリスク管理の徹底に努めた結果、平成31年度決算は、所期の目標を達成することができました。

今後の事業運営については、未だ新型コロナウイルス感染症が終息しないなか、先行きは極めて不透明な状況ではありますが、役職員一丸となり、「新しい生活様式」を意識した柔軟な事業運営を行い、今後とも、皆さまに信頼していただける金融機関であり続ける所存でございますので、引き続きのご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年8月



経営管理委員会会長  
大川 良一



代表理事理事長  
秦 道喜